



富士見市議会だより

富士見市議会議員集合写真

- (前列右から)
- 庁舎整備に関する特別委員長 関野 兼太郎
 - 建設環境委員長 小川 匠
 - 文教福祉委員長 加賀 奈々恵
 - 副議長 深瀬 優子
 - 議長 田中 栄志
 - 議会運営委員長 勝山 祥
 - 総務委員長 佐野 正幸
 - 広報広聴委員長 尾崎 孝好
- (二列目右から)
- 文教福祉委員 木村 邦憲
 - 総務委員 篠田 剛
 - 建設環境委員 熊谷 麗
 - 総務副委員長 宮尾 玲
 - 建設環境委員 山下 淑子
 - 庁舎整備に関する特別副委員長 根岸 操
 - 総務委員 伊勢田 幸正
- (三列目右から)
- 文教福祉副委員長 篠原 通裕
 - 総務委員 村元 寛
 - 議会運営副委員長 川畑 勝弘
 - 建設環境委員 今成 優太
 - 文教福祉委員 斉藤 隆浩
 - 建設環境副委員長 小泉 陽



3月定例会が2月21日(火)から3月24日(金)までの32日間
にわたって行われました。
今定例会では、令和5年度富士見市一般会計予算をはじめとする
各種議案等の審議のほか、正副議長選挙を行いました。投票の
結果、議長に田中栄志議員、副議長に深瀬優子議員を選出しまし
た。正副議長選挙の際は、全議員を対象に候補者の所信表明を
行いました。
また、各常任委員会や議会運営委員会の委員の選任を行い、新
たな議会の構成を決定しました。

議会内人事改選

正副議長・各常任委員会などの人事についてお知らせします。

議長 田中 栄志 副議長 深瀬 優子

広報広聴委員会 (7人)	議会運営委員会 (5人)	常任委員会		
		建設環境 (7人)	文教福祉 (7人)	総務 (7人)
委員長 尾崎 孝好 副委員長(広報担当) 篠原 通裕 副委員長(広聴担当) 川畑 勝弘	委員長 勝山 祥 副委員長 川畑 勝弘	委員長 小川 匠 副委員長 小泉 陽	委員長 加賀 奈々恵 副委員長 篠原 通裕	委員長 佐野 正幸 副委員長 宮尾 玲
委員 佐野 正幸 委員 根岸 操 委員 加賀 奈々恵 委員 熊谷 麗	委員 齊藤 隆浩 委員 関野 兼太郎 委員 山下 淑子	委員 田中 栄志 委員 熊谷 麗 委員 山下 淑子 委員 今成 優太 委員 川畑 勝弘	委員 木村 邦憲 委員 尾崎 孝好 委員 斉藤 隆浩 委員 深瀬 優子 委員 勝山 祥	委員 根岸 操 委員 伊勢田 幸正 委員 村元 寛 委員 関野 兼太郎 委員 篠田 剛

就任のあいさつ



副議長 深瀬 優子



議長 田中 栄志

令和5年第1回定例会において正副
議長に就任いたしました。
富士見市は市制施行51年目と新たな
ステージに進んでいきます。
議会としても、歴代議長を中心に築
き上げられた伝統を踏まえて、ワンチ
ーム富士見市議会として活動の更なる
拡充に努めてまいります。
市民の皆様の期待に応えられるよう、
議会の先頭に立ち、より良い富士見市、
より良い富士見市議会を目指してまい
りますので、皆様方のご理解とご協力
をお願いいたします。

【正副議長選挙の投票結果】

議長 田中 栄志 21票 (無効0票)
副議長 深瀬 優子 21票 (無効0票)

目次

- P2 議案審議報告
- P3 一般会計予算に対する討論
- P4~5 市政一般質問
- P6~7 令和4年度の議会活動
- P8 審議結果一覧(賛否表)
議案審議報告(人事案件)
次回定例会のお知らせ



議案審議報告

議案第2号

富士見市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数可決)

富士見市特別職報酬等審議会の意見を踏まえ、期末手当の支給月数(割合)を0.1月分引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

[令和5年4月1日施行]

議案第3号

市長及び副市長の給与等に関する条例及び富士見市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数可決)

富士見市特別職報酬等審議会の意見を踏まえ、期末手当の支給月数(割合)を0.1月分引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

[令和5年4月1日施行]

議案第4号

富士見市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致可決)

管理職手当の改定に伴い、管理職手当の月額の上限となる割合を100分の15から100分の25に引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

[令和5年4月1日施行]

議案第5号

富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致可決)

建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令の一部改正に伴う手数料の新設、区分の見直しによる文言の修正のため、条例の一部を改正するものです。

《主な内容》

- ・低炭素建築物新築等計画の認定の区分の見直しによる文言の改正及び誘導仕様基準の新設に伴う審査手数料の新設のため、別表69項、70項を改正する。
- ・建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の文言の改正及び誘導仕様基準の新設に伴う審査手数料の新設のため、別表77項、82項を改正する。

[令和5年3月24日施行]



議案第9号

富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致可決)

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の公布等に伴い、同基準の規定を引用している富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。

《主な内容》

- ・利用乳幼児の安全の確保に関する計画の策定等について、新たに追加する。
- ・自動車を運行する場合の利用乳幼児の所在確認等について、新たに追加する。
- ・家庭的保育事業所等が他の社会福祉施設を併設している場合において、保育に支障がない場合に限り、保育に従事する職員の一部の兼務等を可能とするため、条文を一部改める。
- ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に必要な措置を明確化するため、条文を一部改める。

[令和5年4月1日施行]

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準における懲戒に関する規定が削除されたことに伴い、条例第13条を削除する。

・その他文言修正を行う。

[令和5年3月24日施行]

議案第10号

富士見市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致可決)

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の公布等に伴い、同基準の規定を引用している富士見市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。

《主な内容》

- ・利用者の安全の確保に関する計画の策定等について、新たに追加する。
- ・自動車を運行する場合の利用者の所在確認について、新たに追加する。
- ・業務継続計画の策定等について、新たに追加する。
- ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に必要な措置を明確化するため、条文を一部改める。

[令和5年4月1日施行]

・その他文言修正を行う。

[令和5年3月24日施行]

議案第12号

富士見市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致可決)

ひとり親家庭等の自立を促進するため、課税世帯のひとり親家庭等医療費の自己負担金を廃止することに伴い、条例の一部を改正するものです。

《主な内容》

- ・支給の範囲を規定する第6条について、自己負担金に関する部分を削除し、改める。

[令和5年6月1日施行]

議案第13号

富士見市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致可決)

健康保険法施行令等の一部が改正され、出産育児一時金が42万円から50万円に引き上げられたことに鑑み、国民健康保険の被保険者への給付も社会保険の基準に合わせるため、出産育児一時金の額を42万円から50万円に引き上げるものです。

[令和5年4月1日施行]

議案第14号

富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数可決)

地方税法施行令が改正され、国民健康保険税の課税限度額が改定されたことに鑑み、本市においても、中間所得層への負担増を緩和しつつ増収を図るために、課税限度額を改定するものです。

《主な内容》

- ・基礎課税額の課税限度額を63万円から65万円に改定する。
- ・後期高齢者支援金等課税額の課税限度額を19万円から20万円に改定する。
- ・上記の内容及び、課税限度額をそれぞれ改定する。

[令和5年4月1日施行]

議案第16号

令和4年度富士見市一般会計補正予算(第10号)

(全会一致可決)

既定の予算から1億219万5,000円を減額し、予算の総額を408億1,767万6,000円とするものです。

《主な内容と金額》

- ・公共施設の整備・改修に向けて、公共施設整備基金への積立てを行うための補正 [6億円]
- ・事業の進捗や契約状況を踏まえ、市道第5112号線の整備に係る委託料及び物件補償料、並びに市道第5118号線の整備に係る道路用地買収費及び物件補償料を減額するための補正 [△3億500万円]



議案第30号

町の区域を新たに画することについて

(全会一致可決)

鶴瀬駅西口土地区画整理事業の工事の完了に伴い、大字鶴馬(東武東上線西側地域)の一部を鶴瀬西1丁目とするものです。

議案第31号

工事変更請負契約の締結について

[鶴瀬駅東口駅前広場整備工事(第3期)]

(全会一致可決)

《履行期限》

変更前…令和5年3月31日

変更後…令和5年12月28日

(272日間の延長)

《請負業者》

島田建設株式会社



議案第32号

工事請負契約の締結について

[市立富士見特別支援学校屋内運動場棟大規模改修建築工事(ゼロ債務)]

(全会一致可決)

《請負業者・請負金額》

株式会社富士見工務店

[1億9,066万800円]

議案第37号

令和4年度富士見市一般会計補正予算(第11号)

(全会一致可決)

既定の予算から9,052万4,000円を減額し、予算の総額を407億2,715万2,000円とするものです。

《主な内容と金額》

- ・諏訪の森に係る取得予定地内において物件管理の調整に時間を要したため用地取得費を減額するための補正 [△9,052万4,000円]

議案第38号

令和5年度富士見市一般会計補正予算(第1号)

(賛成多数可決)

既定の予算から3,746万1,000円を増額し、予算の総額を390億7,639万5,000円とするものです。

《主な内容と金額》

- ・令和5年度春夏(5月から8月)の新型コロナウイルスワクチン追加接種に係る委託料等を新たに計上するための補正 [1億428万2,000円]
- ・市道第5131号線(富士見橋通線)に係る工事が令和4年度で完了したことに伴い、令和5年度に計上した工事請負費を減額するための補正 [△7,000万円]

議案第39号

工事変更請負契約の締結について

[幹線道路整備工事(富士見橋通線第3工区)]

(全会一致可決)

《履行期限》

変更前…令和5年3月24日

変更後…令和5年3月30日

(6日間の延長)

《請負金額》

変更前…4億821万700円

変更後…3億3,929万5,200円

(6,891万5,500円の減額)

《請負業者》

島田建設株式会社

一般会計予算に対する討論

日本共産党

物価高騰で大きな影響を受けている市民や、介護、障がい者施設、営業への支援策が一切盛り込まれていないことは大きな問題。住民福祉を増進するという行政の責任を果たすべき。市長は「国や県がやるべき」というが、国や県を待つのではなく、市民の暮らしの実態をつかみ独自施策の実施をすべきだった。学校給食費の無償化、18歳までの子ども医療費無料化、高齢者の補聴器購入費助成、国保の子ども均等割廃止などが棚上げにされている。議会で陳情が可決されている西出張所の代替え施設、西側地域に循環バスを運行する為の検討がされていない。

反対

公明党

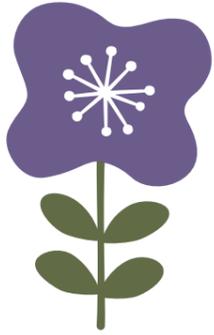
現在の世界情勢や物価高騰などの厳しい状況においても、市長の施政方針にもあるように「子どもの笑顔」、「活気ある経済」を取り戻すため、きめ細やかで迅速な支援に取り組むことは重要と考える。今回の予算では、富士見市の未来の希望を形成することが期待される事業として、出産・子育て応援事業、産後医療機関へ委託実施の助成を追加した母子保健事業、水谷小学校校舎増築事業などが反映されている。福祉分野では生活を送る中で直面する困難・生きづらさの多様性から表れる課題に対応した、重層的支援体制整備移行事業、

賛成

市の主人公である市民の声に耳を傾け、市民の願いに沿った市政運営に立ち返ることを求める。田んぼや畑がどんどん開発されていることはゼロカーボンシティの理念と反する。災害に強い田んぼや畑や緑地の保全等、環境に配慮し食とエネルギーの地産地消を進めるべき。

新年度実施されるゼロカーボンシティを目指す取組、住宅リフォーム助成1200万円の増額、南畑第2放課後児童クラブ開設、離婚に伴う公正証書作成費補助、重層的支援体制の構築、就学援助世帯に対するタブレット通信費の補助については評価する。

庁内DXの推進ではクレジットカード決済、マイナンバーカードを利用した図書館利用、書かない窓口へ向けた申請書作成システムの導入、地域のスポンジ化を防ぐ財産管理制度申立費用等が計上されている。これらは市民生活の安心安全や利便性、高齢化社会への対応、共生社会の実現へと時代に則した必要かつ的確な予算編成で、これまで公明党としても推進した事業であり、高く評価する。今後も更なる市民サービスの向上と財政基盤の強化により、将来への活気と賑わいにつながる施策を要望し、賛成とする。



無会派(日本維新の会)

賛成

令和5年度予算の歳入は、市税等は上昇の見込みで想定されているが、経済情勢は1年先を予想するのが大変難しい時代。適宜の補正予算を。

新たな自主財源の取組はないとの答弁だが、実施可能なものについては、ぜひ実施を。私も先進事例は提案していく。

庁舎整備基金の積立でも着々と行われているが、当初は想定されなかった物価高騰が起きているため、新庁舎に必要な費用の積算を再度行い、情報公開を。また学校給食センターの建替えなど複数の構想が浮上しているが、適切なタイミングで基金条例制定を。令和5年度は産業団地整備工

が始まることだが、しっかりと市民に情報が提供されることが重要。今回、産業団地内の調節池容量を増やすことはしないと示された。大変、残念。各家庭の雨水タンクの設置補助施策を強化、事業所も対象とするなど、地域の治水力を向上させる取組を。

令和5年度はびん沼自然公園がリニューアルオープン。10億円を超す費用を投じたこのプロジェクトが成功するよう、市内外にPRを。ウクライナ侵略による物価高騰は収束の兆しがまだ見えない。必要な補正予算編成を適宜行っていくことを求め、賛成の討論とする。

草の根

賛成

市税収入が増加見込みで財務諸表も健全である。

令和5年度から子ども基本法が施行される。子どもの意見表明権が反映される体制づくりを望む。不登校児童支援について、出張相談事業の担当部署にこだわらない場所の確保やオンライン授業の拡充を期待する。

学校給食センター事業では、調理業務の民間委託のメリットを活かすとしても、市のビジョンを示すべき。

市立自転車駐車場も指定管理者が変わる。サービスの向上を期待するが、従来まで請け負っていたシルバー人材センターに対し、雇用の創出を。

21・未来クラブ

賛成

令和5年度は、第6次基本構想第1期基本計画の中間年度であり、市制施行51年目となる新たなスタートとなる年でもある。新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの社会状況の動向も踏まえながら、10年以上先を見据え、市民が自分らしく充実した日々を送ることができるよう施策を着実に推進していく必要がある。

待機児童解消の取組など子育て教育環境の整備、従来の枠組みを超えた福祉の重層的な支援体制の構築、誰もがスポーツに親しめる環境の創出、市内産業の活性化やびん沼自然公園のリニューアルオープンによる新たな賑わいの創出、デジタル化の推進による事務の効率化や市民サービスの向上、シテイゾーンや水谷柳瀬川ゾーンなどの大規模プロジェクトおよび関連する治水対策や道路整備、「富士見市ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組など多岐にわたる分野のバランスがとれた予算を評価する。

無会派(立憲)

賛成

令和5年度当初予算は、前年度に比べて33%の増とした。

歳入面では、納税義務者の増、1人当たりの給与所得の増加を見込み、個人及び法人市民税とも増額をしている。しかし、これまでのコロナの影響は本市においても出ていと感じている。市民各階層の状況を的確に捉え、スピード感を持った補正予算等の対応を望む。

歳出面では、子育て支援事業や医療ケアとしての保護者に寄り添った支援、土地利用としてのBゾーンや水谷・柳瀬川ゾーンの整備、みずほ台東通線の整備、スポーツ関連施策としての多目的屋外施設に関する取組、

今後も、未来を担う子どもたちに対する支援と、働きながら子育てをする世代の支援としての学校給食費無償化を望む。生活が厳しい高齢者の声も多い反面、施策が少ないように感じる。公共交通では、市民の足の確保が課題である。これからも人に優しい富士見市を目指し、評価と指摘をして賛成とする。

※各討論は本会議における発言順に掲載しています。



市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。



根岸 謙 (無党派(立憲))

① 新型コロナウイルス感染症対策について

Q マスクの着用に対し、市民に向けての対応は。
A 3月13日以降は、マスクの着用は個人の判断に委ねる。公共施設の制限緩和は、施設の人数制限は撤廃し、利用者名簿は廃止する。
② 鶴瀬駅東口地域について

Q マンション建設に伴い、開発業者から丁寧な説明がなかったが、市としての指導は。
A 開発代理人に住民の声は申し入れているが、不安を解消するため再度申し入れる。
Q 市道第97号線の拡幅は。
A 当面はマンション側だけの後退であり、将来的に反対側の開発が行われれば中心から2m後退し4mとなる。
Q 以前事故が起きた交差点の注意看板を双方に設置を。
A 今後4方向に設置する。
Q 一方通行逆走防止対策は。
A 新たに看板等を設置する。



関野 兼太郎(21・未来クラブ)

① わかりやすいデジタル社会の実現を目指して

Q デジタルデバイス、情報格差を解消するための対策は。
A 交流センターや公民館でパソコン教室やスマホ教室を実施し支援している。
Q マイナンバーカード活用の更なる拡大への取組は。
A 現在導入されている電子

申請や健康保険証利用などに加え、利便性の高いサービスが提供できるよう努めていく。
Q 富士見市ホームページのリニューアルにあたってユーザーニーズに合わせた改修を。
A 見たい情報がわかりにくいの声もあり、よりメリハリをつけたデザインとする。
② 交通不便地域や移動困難などの解消について
Q 交通手段の多様化に向け、AIアプリを使った乗合タクシーの導入を。
A 市民ニーズへの対応がとも



篠田 剛(公明党)

① 水泳授業の民間委託について

Q 志木市など先進他市の取組は。
A 屋内温水プールを使い天候に左右されることなくインストラクターから指導を受けているため、子どもたちへの効果的で専門的な指導が可能になった。5月から2月の長

期の間、学校ごとに実施期間を決めて行うと聞いている。
② 水谷調節池周辺の賑わいづくりについて
Q 完成後に監視カメラを設置する予定はあるのか。
A 検討中である。
Q 堤防の円周距離とジョギングや散歩などの活用や駐車場の整備について。
A 円周距離は約1.2kmの予定であり、ジョギングや散歩にご利用いただけるように舗装などの整備を埼玉県にお願いしている。駐車場の整備は予定していない。

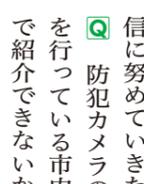
整備の視点も必要と考えるが、
A 検討を進めていく中で総合的に考えていきたい。
② 鶴瀬駅東口周辺の整備について
Q 駅舎の改修に向けて近隣自治体からの情報収集を。
A 東武東上線改善対策協議会などを通じて行っていく。
③ 緑地の保全と活用について
Q 市民緑地「諏訪の森」の保全と活用について、市として考えていく必要があるのでは。
A 湧水と緑の活用基本方針も踏まえて散策路の整備等について検討していきたい。



伊勢田 幸正(無党派(日本維新の会))

① 安全安心なまちづくり

Q 相次いだ広域強盗事件で事件解決に大きな役割を果たしたのが防犯カメラだった。今回の事件を受け、家庭向けや事業所向けの防犯カメラの設置補助を行っては。
A 補助は当面実施する考えはないが、家庭向け・事業所向けの効果的な防犯対策につ



いては、警察と連携し情報発信に努めていきたい。
Q 防犯カメラの販売・設置を行っている市内事業者を市で紹介できないか。
A 研究させていただきたい。

② 紙おむつについて

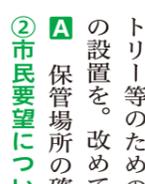
Q 保育所の使用済み紙おむつの持ち帰りをしないで、園で処分することを推奨する旨の厚生労働省等の通知を受けて、本市の対応は。
A 今後、費用などの課題を整理するとともに、国・県・他市の動向などを見て、研究していく。



佐野 正幸(21・未来クラブ)

① 地域課題について

Q 町会や町会に選出を依頼している各役職等の近い将来の在り方、後継者・なり手不足への対応として、市の依頼内容の精査や町会の全体的な負担軽減策が必要。見解は。
A 各種委員等の推薦を含め、町会に対する負担を、可能な限り減らせるよう努める。



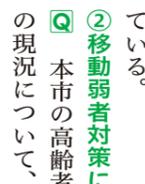
Q 子ども食堂やフードパントリー等のための共用冷蔵庫の設置を。改めて、早急に。
A 保管場所の確保に努める。
② 市民要望について
Q 1年間の死亡届の数は。
A 令和3年度は、1351件。
Q 分かりやすい、おくやみハンドブックの配布を。
A 今のところ考えていない。
Q 市役所の受付呼出状況の配信を。
A 開始し、周知する。
Q 下の谷公園のトイレ増設を。
A 検討していく。



篠原 通裕(公明党)

① 生活困窮者支援について

Q 生活困窮事業を展開するには費用が発生するが、数値化された効果が短期的に得られないことも多い。費用対効果をどのように考えるか。
A 費用対効果を把握することが難しくても、命に関わる問題にもなりかねないため、早く確実に支援の手を差し伸



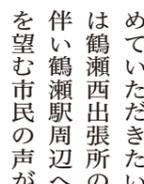
べることが重要であると考えている。
② 移動弱者対策について
Q 本市の高齢者の移動弱者の現況について、どのように捉えているか見解を伺う。
A お住まいの地域や高齢者一人ひとりの状況によって、様々なニーズがあるものと認識している。
③ 地域課題について
Q 上沢3丁目なかよし公園前に設置されている老朽化した側溝の状態を改善するべきと考えるが、見解を伺う。
A 早急に改善を図る。



深瀬 優子(公明党)

① 公共施設マネジメント

Q 公共施設の改修や建て替えには多額の財源が必要で、市民が納得のいく整備推進にどう取り組んでいくか。
A 検討の進捗状況に応じた説明会の開催など計画策定の段階から市民参加による市民協働の公共施設づくりを行う。現在、市民から出ている



ご意見を大いに参考にしながら進めていきたい。具体的には鶴瀬西出張所の一時閉鎖に伴い鶴瀬駅周辺への公共施設を望む市民の声があり、市内全域の公共施設の在り方について、市民の納得が得られる推進が必要と考える。見解は。
A 今後の人口推移や人口構成の変化のほかライフスタイルの変化による新たな市民ニーズへの対応も想定し、既存施設の利用目的や利用形態の見直しを行うなど、市民生活に必要な施設機能を維持し安全な施設を持続的に提供する。



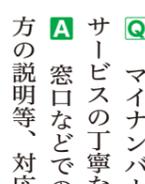
マイナポイントの申込支援窓口



山下 淑子(公明党)

① 子育て支援の充実について

Q プレコンセプション(妊娠前)ケアについて、普及啓発に関する本市の考えは。
A 若い世代に対しての健康づくりの有効な手立てとして、積極的に取り組んでいく。ホームページ等でもわかりやすく周知ができるよう研究する。
② 人にやさしいデジタル社会



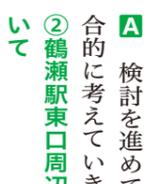
への取組について
Q マイナンバーカード利用サービスの丁寧な周知を。
A 窓口などでの丁寧な使い方説明等、対応していく。
Q スマホに関する悩みを相談できる「スマホよろず相談所」の設置をどうするか。
A 現状のスマホ教室を1か所増やし相談に対応していく。
③ 一人暮らしの高齢者支援について
Q 高齢者見守りサービスに関しての助成をどうするか。
A 実施は考えていない。必要な情報提供は行っていく。



尾崎 孝好(21・未来クラブ)

① 危機管理体制について

Q 消防・警察・自衛隊等の関係機関との連携体制強化に向けて会議等を定期的に開催すべきと考えるが見解は。
A 必要性は認識しており、今後検討していきたい。
Q 中央防災倉庫などの機能を備えた施設の整備に向けた検討においては複合的な施設



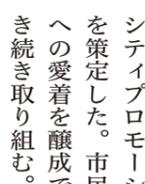
整備の視点も必要と考えるが、
A 検討を進めていく中で総合的に考えていきたい。
② 鶴瀬駅東口周辺の整備について
Q 駅舎の改修に向けて近隣自治体からの情報収集を。
A 東武東上線改善対策協議会などを通じて行っていく。
③ 緑地の保全と活用について
Q 市民緑地「諏訪の森」の保全と活用について、市として考えていく必要があるのでは。
A 湧水と緑の活用基本方針も踏まえて散策路の整備等について検討していきたい。



小泉 陽(21・未来クラブ)

① 教育の情報化推進について

Q 指導における活用は。
A 基礎学力定着とともに、思考を深める学習活動が増えている。各学校で工夫し、児童生徒が、わかる、できるを実感する授業に活かしている。
② シティプロモーションについて
Q 今後の施策は。



A 令和3年度に「富士見市シティプロモーション戦略」を策定した。市民が富士見市への愛着を醸成できるよう引き続き取り組む。市外に向けてはPR動画、トレインビジョンの活用など、効果的なプロモーションに努める。
③ 都市計画について
Q 狭隘道路や住宅密集を改善する検討は。
A 建築物の建て替えの際など地域住民の協力のもと改善を図るとともに、関係部署と連携し安心安全なまちづくりの有効な手法を研究していく。

宮尾 玲 (日本共産党)



① 学校給食の充実について
Q オーガニック給食を富士見市で導入してはどうか。
A コストや調達の安定性などの観点から難しい。
Q 鎌倉市のように、12月8日オーガニックの日、年に一度の給食から始めてみては。
A 来年度から委託する民間業者とも相談し検討する。

Q 学校給食費の無償化にかかる費用はどのくらいか。
A 約4億2000万円必要。
Q 全体予算の1%で可能。子育て支援策として実施を。
A 国がやるべきことである。今無償化する考えはない。
② 香害対策の充実を
Q 小中学校において実態調査や意識調査の実施を。
A 保護者、本人からの申し出を受け、個別対応していく。
Q 旭川市のように、保護者向けに柔軟剤使用に配慮を求めるとして配布しては。
A 情報発信はしていく。



リニューアルオープンしたびん沼自然公園

木村 邦憲 (日本共産党)



① 市内公共交通について
Q 東上線西側地域に循環バスを通さないとという決定をどの時点で行ったのか。
A 第18回地域公共交通会議の前に行った。西側地域は駅まで概ね歩いていける距離で循環バスは必要ない。
Q バスが無い不便な地域だから多くの市民の声がある。

A 駅から1km以内なら高齢者の方でも歩いていただく。
Q 東上線西側地域にバスを求める陳情が採択された。検討中とあるがどう進めるのか。
A 将来における近隣自治体との連携という意味ではバス運行は検討の余地はある。
② 水谷放課後児童クラブの過密解消のための対策を
Q 来年度、水谷放課後児童クラブは定員数を大幅に超える児童であふれる見込み。プレハブ設置等早急な対策を。
A 特別教室や体育館を借用し、生活スペースを確保する。

川畑 勝弘 (日本共産党)



① 18歳までの医療費無償化について
Q 18歳までの医療費無償化について、市の見解は。
A 対象年齢の拡大は考えていない。近隣自治体の状況を注視したい。
② 市内にある山林、緑地の保全について
Q 市民が所有している保存

樹林が相続時に開発されること懸念される。その保存樹林の公有化をどのように計画していくのか。
A 相続時に、所有者の事情を尊重し意向を確認したい。
③ びん沼自然公園について
Q 生態系保護の観点から水質は重要。六価クロム調査を。
A 水質調査の予定はない。
Q 公園の動植物の復元・再生をどのように進めるのか。
A 指定管理者、市、河川管理者が相互に連携し、自然環境の保全に取り組んでいく。

加賀 奈々恵 (草の根)



① 女性管理職の登用を
Q 女性管理職の比率は。
A 部長・副部長級が6.3%、課長級が14%、副課長級が24%である。
Q 女性管理職の目標値は。
A 令和6年度までに25%。
Q 役職の階級ごとに目標値を定めるべきでは。
A 現状では行わない。

Q 女性管理職を積極的に登用する「ポジティブアクション」を行うべき。
A まずは子育て支援☆女性活躍推進プランのつとめる。
② 夜間における市の災害対応について
Q 警備員室における危機管理マニュアルの周知状況は。
A 更なる周知に努める。
③ 障がいのある方が働きやすい環境づくりに向けて
Q 福祉事業所に通所する際の交通費助成を行うべき。
A 近隣市では実施していないことなどから行わない。

熊谷 麗 (草の根)



① 保育環境の充実について
Q 待機児童解消に向けた取り組みについて。
A 新規整備や増築、認定こども園への移行など、今後もしっかりと取り組んでいく。
Q 使用済み紙おむつの持ち帰り廃止を。
A 厚生労働省からの通知を受け、国からの財政的な手当

の有無や、既に園で処分している施設に対し保管方法や費用などの聞き取りを行い研究していく。
② 更年期障害に対する総合窓口について
Q 現在の相談状況は。
A 健康増進センターにて、保健師が話を聞きアドバイスを行ったり、医療機関への受診勧奨などを行っている。
③ 樹木管理について
Q 公園の樹木の伐採について、市の見解は。
A 防犯の観点から公園に適した樹木管理を行っている。

村元 寛 (草の根)



① 視覚に障がいのある方への支援について
Q 横断歩道に横断方向を示すエスコートゾーンの増設を。
A 関係機関や市民と共に相談をしながら取り組んでいく。
Q 点字ブロック周辺の車止めなど危険な交差点の改善を。
A 利用者の立場に立ち、対策必要箇所の改善を行う。

② 鶴瀬駅東口の駅前整備の状況について
Q 段差の解消などの工夫を。
A 高齢者や障がい者などに配慮し、バリアフリー化や電線地中化など安全性や利便性に工夫をした整備を進める。
③ 中小企業・個人事業者などへの支援について
Q 経営者支援の強化を。
A 資金繰り支援や情報提供などに努める。またインボイス制度への支援も行っていく。
Q 従業員支援の強化を。
A 関係機関と様々な情報交換などをして支援をしていく。

今成 優太 (草の根)



① 学級の運営について
Q いわゆる「学級崩壊」と思われる学級が本市でも存在すると聞き及ぶ。対策を。
A 学校、保護者等と連携し対応してきた。さらに対応していく。
② 通学路の安全対策について
Q 人口増加の著しい水谷小学校区は、住宅開発や道路環

境の変化が急速に進み、通学路の安全確保が取れていない箇所が多い。早急に対策を。
A 関係課と連絡を密にし、対応していく。
Q 不審者の発生が近年増加している。対策を。
A 引き続き対策していく。
③ スポーツ行政について
Q ガーデンビーチ跡地に多目的な屋外スポーツ施設が建設される予定である。本市の特性を捉え、ナイター設備や全天候型の施設を検討していくべきではないか。
A 検討課題としていく。

小川 匠 (日本共産党)



① 介護事業について
Q 日常的に家族等の介護を担うケアラーへの支援を。
A 適切な介護の知識・技術の習得や介護保険サービス等の利用方法を内容とした「介護者教室」を継続していく。
Q 今後の施設整備の計画は。
A 100床の広域型特別養護老人ホームと認知症対応型グル

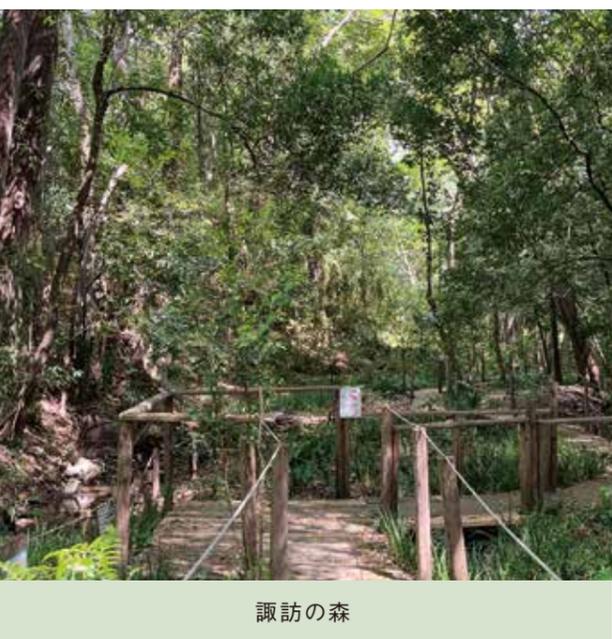
ープホームが、2024年度中に上沢地区に開設予定。
② 市役所西出張所について
Q 市役所西出張所が「一時閉鎖」され、2年が経とうとしているが、再開の見通しは。
A 耐震改修工事の実現に向けて協議を継続しているが、いまだ、工事実施の合意形成には至っていないため、具体的な見通しは答えられない。
Q いよいよもって代替施設を整備するべきでは。
A 代替施設は考えていないが2年が経過するため、今後、現状認識や課題の整理を行う。

田中 栄志 (21未来クラブ)



① 行政評価について
Q 更なる活用を。
A 今後は、当該年の事業推進のためのフィードバックに加え、効果の視点も踏まえた検証を行い、行政活動の先にある効果を生み出せるよう、取り組んでいく必要がある。
② 官民連携について
Q 更なる推進を。

A 市民のための官民連携を推進する必要性が一層高まることが見られる。効果的・効率的な連携に向け、積極的に民間との交流機会を確保し、地域課題の解決に向けた最善手法が取れるよう努めたい。
③ SDGsの推進について
Q 「SDGs未来都市」に応募を。
A 策定し始めたSDGs実行計画をSDGs未来都市等提案書に合わせて作成予定。令和5年度のSDGs未来都市への応募を目指したい。



諏訪の森



議員顔写真下のQRコードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、それぞれの議員の市政一般質問一覧や、議場で質問したときの録画映像にアクセスできます。
 なお、最新映像の公開には時間がかかる場合もございますので、ご了承ください。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
 録画映像 本会議終了後1週間程度で配信



または

富士見市議会 中継 検索

総務常任委員会の活動紹介



総務常任委員会の所管

総務常任委員会では、危機管理課や総務部、政策財務部、市民部、会計室、行政委員会に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項を担当しています。

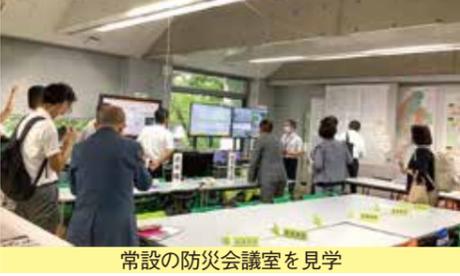
行政視察

昨年度に引き続き「富士見市の防災について」をテーマに、令和4年7月21日（木）に静岡県掛川市の「防災・減災対策ならびに市民の防災意識向上に対する取組について」、7月22日（金）に、静岡県焼津市の「防災・減災対策ならびに消防団に対する支援について」、先進地の行政視察を行いました（焼津市では「新庁舎建設事業について」も視察）。

自治体における共通課題の一つに「市民の防災意識の向上」があると思います。掛川市では行政主導型ではなく、地域の住民一人ひとりが我が事として備え、いざという時に行動できるかというところに主軸を置き、自治体、地元企業、市民が一体となって取組を進めていました。



掛川市において担当者より説明を受けている様子



常設の防災会議室を見学

焼津市では、地域が一体となり全ての自治会で自主防災組織が結成され、連携や様々な活動が行われていました。

富士見市においても日常生活の中で、「もし今、災害が起きたら」という視点を常に持ち、自分の命を守る意識を共有し、市民の皆さんとともに防災・減災意識の向上に更に取り組んでいきたいと思えます。

意見交換会

令和4年10月4日（火）、水谷東小学校区、勝瀬小学校区、つるせ台小学校区の防災連絡会の皆さんと「富士見市の防災について『地域での活動について現状と課題』」をテーマに意見交換会を行いました。

活発な意見交換からは、改めて自助・共助の大切さと公助を担う行政の防災への継続的な取組の必要性、地域住民のコミュニケーションの醸成を図り普段から顔の見える関係を創っていくことが大切なこと等を再認識し、共感を持つことができました。各地域の様々な防災への取組について貴重なお話を聞くことができ、有意義な意見交換会となりました。

また、令和3年度意見交換会（富士見市消防団）及び令和4年度意見交換会に参加された方々より出された意見・要望の中から、今後の行政運営において検討していただきたい内容を取りまとめ、執行部に送付しました。

令和3年度・令和4年度のまとめ

2年間で、「富士見市の防災について」、取り組んでまいりました。この取組を活かし、今後も富士見市議会としての責務をしっかりと果たしてまいります。



市内小学校区防災連絡会の皆さんとの意見交換会



新庁舎が完成したばかりの焼津市にて

文教福祉常任委員会の活動紹介



文教福祉常任委員会の所管

文教福祉常任委員会では、子ども未来部、健康福祉部、教育委員会に関する事項を担当しています。教育委員会における取組のうち、今年度は学校給食について年間を通じて委員会活動に取り組みました。

議員研修会（学校給食について）

令和4年10月7日、教育委員会所管の学校給食センターの現状や課題について伺いました。

〈学校給食の現状について〉

当市は、共同調理方式で調理を実施している。小学校11校、中学校6校に、一日約900食の供給を行っている。富士見特別支援学校では自校方式で調理を実施している。

〈学校給食費の公会計化について〉

学校給食費は学校ごとに収納・管理をしているが、令和5年度から公会計化に向けて準備を進める。納付方法は、口座振替を原則と考えている。また、給食費の収納管理や督促等は学校の職員ではなく、学校給食センター職員が行う。

〈民間委託について〉

全ての工程を委託するのではなく、市と受託業者で役割を決め、安全安心な給食を安定的に提供できるようにする。

〈アレルギー対応について〉

当市にはアレルギー食調理業務のできる施設がないため、アレルギーのある子どもへの対応ができない状態である。

行政視察

令和4年11月8日、東京都府中市立学校給食センターと埼玉県東松山市への視察を行いました。府中市立学校給食センターは、全国でも最大級の規模で、最新の設備が備えてありました。二つの献立の調理、

エリアの完全分離、食材の搬入から配付までを通し、徹底したアレルギー食調理など、とても参考になりました。また、東松山市は給食費を公会計化して2年目に入った現在の取組を伺うことができました。



府中市立学校給食センター内見学の様子



府中市立学校給食センターにて

意見交換会

令和5年1月11日、現場の声として富士見市学校給食センター運営委員会の皆さんと学校給食に関する意見交換会を行いました。

運営委員からは、給食時間の十分な確保、残菜率の増加への不安、教員の負担、不登校の子どもたちの対応などについて意見がありました。学校給食をめぐる様々な問題について意見が挙げられ、課題も明らかになりました。



意見交換の様子



富士見市学校給食センター運営委員会の皆さんと

令和3年度・令和4年度のまとめ

2年間の取組で、ICT教育・GIGAスクール構想や学校給食に関する取組を把握することができました。また、教育委員会との懇談や提言書の提出により、研究してきた課題などを共有することができました。

建設環境常任委員会の活動紹介



建設環境常任委員会の所管

建設環境常任委員会では、協働推進部、経済環境部、都市整備部、建設部、農業委員会に関する事項を担当しています。

私たちは、令和3年度、令和4年度にわたって「富士見市の農業」をテーマとして委員会活動に取り組んできました。

東京都練馬区行政視察（令和4年7月） テーマ 都市農業について／農の学校

視察を行った背景に、令和3年に実施した農業青年会議所の方々の意見交換会があります。この意見交換会では、農業を営む上での課題として、「経営面・経済面での難しさ」が挙げられました。意見交換会後に、委員間でこうした課題を解決する一助となるためにはどうしたらいいか振り返りを行ったところ、東京都練馬区では都市農業の先進地としてこうした課題の解決に取り組んでいることが共有されたため、視察を実施しました。

練馬区においては、観光で農家が高収入を確保している状況が見られました。また、農家の人手不足対策として、「練馬区農の学校」を開校し、援農ボランティア



練馬区「農の学校」園場見学



練馬区「農の学校」集合写真

の育成とマッチングを行っていました。実際に「農の学校」はどのような施設であるのか見学も行いました。練馬区も担い手不足や収益化、近隣住民の理解など本市と同様の課題を抱えていましたが、課題解決のために、直売所を入れ、直売所アプリ「とれたてねりま」やコインロッカー式自販機への補助などニーズに応える取組を行っていました。

執行部との感想共有（令和4年7月 視察後）

練馬区への視察に同行していただいた執行部の方々と委員において、視察の感想や富士見市で尽力している認定農業者の方々の実情について共有しました。その後、委員間で協議し、認定農業者の方々と意見交換会を企画するに至りました。

認定農業者の方々と意見交換会（令和5年1月） テーマ 富士見市の農業の目指すところと課題

13名の市内認定農業者の方々にお越しいただき、インタビュー形式で意見交換を行いました。農業体験や農業観光などの仕組みづくり、特産品作りへの支援や人材育成が必要であること、また、大きなニーズとしては農業の「売り場」を増やすことに力を貸してほしい旨の意見を伺いました。



認定農業者の皆さんとの意見交換会の様子

令和3年度・令和4年度のまとめ

令和3年度からの継続した取組を受け、本市の農業に必要な取組としては、市内「売り場」の創出や、農業の応援者を増やす取組、農業者間での意見交換の場の三つであるという共通認識に至りました。こうした提言を記載した活動報告書を議長に提出し、執行部にも情報提供を行いました。

その他の委員会等の活動紹介

庁舎整備に関する特別委員会

市役所の新庁舎建設に向けた諸問題の調査を目的として令和3年度に設置された本特別委員会について、令和4年度は、執行部から庁舎整備における基本計画の策定スケジュールなどについて説明を受けました。また、新庁舎における議場の在り方や議会として必要な諸室について、議会運営分科会を中心に検討し、その結果を報告書としてまとめました。

《令和4年度の活動内容》

9月

・特別委員会を開催し、庁舎整備に関する基本計画の策定に関し、そのスケジュールや業務委託などについて執行部から説明を受け、質疑を行いました。

10月～12月

・市長から検討依頼に関する文書を收受しました。
・議会運営分科会を開催し、議場の在り方や議会において必要となる諸室について検討しました。（計4回）

2月

・特別委員会を開催し、議会運営分科会における検討結果について確認しました。また、新庁舎への施設の集約化・複合化について執行部から説明を受け、質疑を行いました。
・報告書を議長へ提出し、市長へ送付しました。

その他の議会活動

《議員研修会》

議員の能力や資質の向上を目的として、議員研修会を行いました。令和4年度は令和4年10月に「ヤングケアラ」をテーマとした研修会を行いました。

この研修会では、埼玉県地域包括ケア課の職員の方を講師に、ヤングケアラの現状やヤングケアラ支援の必要性、埼玉県における支援の取組内容などについて説明を受けました。



ヤングケアラに関する研修会

市議会だより編集委員会

令和3年4月より、市議会だより編集委員会として「市議会だより」の編集・発行を行ってまいりました。これまでの紙面づくりの改善に向けた取組を引き継ぎつつ、内容や構成などの検討を重ね、より見やすい紙面づくりに注力するとともに、様々な分野で活躍されている個人あるいは団体の皆さんに取材をさせていただく活動も行ってまいりました。

その中で、それぞれの仕事や活動に対する思いや苦労されていること、さらには議会へ伝えたいことなど、貴重なお話を直接伺うことができました。

また、富士見高校生徒会の皆さんと議場において対談をさせていただく機会も得ました。

こうした取組を特集記事として掲載させていただいたことで、紙面のさらなる充実に向けた歩みを進めることができましたものと考えております。

この2年間、議会としての広報の一翼を担う活動はもとより、広聴も視野に入れた委員会活動にも取り組むことができました。

このバトンを広報広聴委員会へとつなぎ、今後も議会としての広報の充実に取り組みたいと考えています。取材等を通じてご協力いただいた皆様方に改めて感謝申し上げます。

ご協力いただいた皆さん（敬称略、順不同）

- ・富士見市老人クラブ連合会
- ・入間東部地区事務組合（東消防署富士見分署）
- ・手話通訳士（富士見市社会福祉協議会）
- ・ふじみの国際交流センター
- ・富士見高校生徒会



市議会だより編集委員会

